

生涯にわたるスポーツ習慣・文化を 地域に根付かせる事業を展開

実施背景

びわこ成蹊スポーツ大学の研究資源や施設環境を活用し、子どもから高齢者までの全世代を対象とし、スポーツに関係する社会課題の解決に取り組んだ。

目的(地域課題の解決など)

同事業では、全国的な課題でもある子どもたちの運動離れの是正、中学生以降の世代に向けた新しいスポーツの価値を提供すること、そして働き盛り世代・子育て世代やリタイア後のシニア世代への運動機会の増加を目的として実施された。生涯にわたるスポーツ習慣・文化を地域に根付かせることを長期目標としている。

取り組んだ具体的な施策

キッズプログラム

子どもたちの運動離れの是正のための事業として「キッズプログラム」を実施した。プログラムのひとつは、幼稚園・保育園・子ども園への「巡回コーチング」。子ども世代における「運動習慣」を楽しみの中から創り出すことを目的に、4歳児・5歳児(年中・年長)の子どもを対象としている。もうひとつは、4歳児(年中)から小学3年生までの子どもを対象に、運動あそびを体験する「キッズフェスティバル」を開催。キッズフェスティバルは、スポーツの楽しさを伝える良い機会であるため、今後も実施の継続を目指す。



ASE活動

中学生以降の世代に向けた新しいスポーツの価値提供事業として、「ASE活動」の実施を行った。ASE活動とは「Action Socialization Experience」の略称で、一人では解決できない肉体的・精神的課題に対し、メンバー同士で能力を出し合い、協力し合いながら、課題を解決するプログラムを指す。ASE活動には計738名が参加した。

ASS活動の設立

パフォーマンスを科学的測定によって評価することで、新たなスポーツの価値を構築する施設「ASS(Athlete Support Station)」を新たに設立。無酸素性パワー測定や有酸素性パフォーマンス測定及び体成分分析装置を用いてのフィジカル測定や、GPSによる動作分析を実施できる。ASSでの体力測定には高校生を含む計186名が参加した。



部活動指導の学生派遣

学校における働き方改革に関する総合的な方策が掲げられる中、部活動指導の外部委託が視野に入っている。そこで同事業では、びわこ成蹊スポーツ大学から学生を指導者として派遣し、部活動指導の一部を担当するという試みを行った。京都市内中学校への部活動指導の派遣者数は32名であり、学生にとって過負担にならず、地域貢献に直結できるような活動に参画できるというスキームを構築した。

公開講座の開催

働き盛り世代・子育て世代やリタイア後のシニア世代への運動機会の創出事業として、「公開講座の開催」を行い、楽しくスポーツに挑戦する機会を提供するとともに、健康に年を重ねるためのマインドセットを提供した。滋賀県の豊かな自然資源を生かしたストックウォーキング教室には、計11名が参加した。

文化講演会の開催

継続したスポーツへの興味関心の涵養、意識啓発をし、健康に年を重ねるための契機となる「文化講演会の開催」を開催し、計465名が参加した。

滋賀レイクスサポーター活動

「滋賀レイクスサポーター活動」を実施し、187名が参加した。地元にあるプロスポーツチームの応援を通じて、スポーツへの興味を育むとともに、地域密着型の応援文化の醸成及び地域の振興に繋げることに貢献する活動である。



結果と今後の展望

アンケート調査では、すべての事業において、概ね好意的な評価を獲得している。課題としては、中学生以降の世代に向けた新しいスポーツの価値提供事業におけるASSにおいてはデータを個人やチームが的確に活用するのは難しいという現状があり、フィードバックの方法などを検証する必要があることが示唆された。また、働き盛り世代・子育て世代やリタイア後のシニア世代への運動機会の創出事業における公開講座では平日開講のため参加者の年齢層に偏りが出てしまったことなどが課題としてあがった。

協力・連携団体

- ・ 滋賀県 ・ 大津市 ・ 草津市
- ・ 甲賀市 ・ 守山市 ・ 長浜市
- ・ 高島市教育委員会
- ・ 京都市教育委員会
- ・ 株式会社滋賀レイクスターズ



担当者の声など詳細は
事業MOVIEをチェック！